



21世紀



学校教育目標：心豊かで たくましく生きる子どもの育成

令和7年1月9日

3学期に入りました。

本年もどうぞよろしくお願いいたします

2週間の冬休みを終えて、学校に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。

始業式では、年末年始、家族と一緒に出掛けた、料理した、運動したなどの子どもの声を聞くことができました。子どもたちが家族の絆と温かい愛に包まれて、元気の源がフル充電されていることが分かりました。お忙しい中、子どもたちにしっかり関わってくださり、ありがとうございました。

さて、いよいよ3学期に入りました。1, 2, 3月は「いく、にげる、さる」と言うように、あっという間に過ぎていく印象があります。

3学期になると、6年生は「卒業生」と呼ばれるようになり、「6年間の成長と周りへの感謝」をふり返ると同時に「中学校進学」に向けての準備が始まります。

1～5年生は、「在校生」と呼ばれるようになり、「卒業生」に感謝の思いを伝え、その勇姿を引き継ぎ、進級の準備を始めます。

「卒業生」「在校生」ともに、この3学期を悔いの残らないよう大切に過ごしてほしいと思います。

始業式の日もとても寒い日でしたが、寒さに負けず、毎日元気に登校するために、生活リズム（早ね、早起き、朝ごはん）が整うよう、ご家庭でもお力添えをお願いします。



今年は、巳(み)年



ヘビは、その見た目や毒を持つものがあるなどの理由で、私はあまりお目にかかりたくない動物の一つなのですが、今年は巳年ということで、ヘビについて少し調べてみました。

救急車などに描かれている青色の★のマーク。これは、人命救助や救急医療を表す「スターオブライフ」と言って、その真ん中には杖に巻きつくヘビが描かれています。

ヘビは、脱皮を繰り返し成長します。新しい皮がきれいにできるので「傷が治る」とか、しばらく餌を食べなくても生き続けるので「強い生命力」などのイメージがあるようです。

また、『巳』の字は、おなかの中の赤ちゃんの姿に似ていることから、生まれる、子孫繁栄、未来、家族の平和などの縁起のよい字として考えられているそうです。

ヘビのイメージが今までとは少し変わって良い印象になりました。異なる角度から見たり、考えたりすることって、相手を知る上でとても大切だなあと感じます。物事を一面ではなく、多面的に捉えたいですね。

令和7年は、巳年。後閑小学校の児童も、ヘビのように皮を脱いで未来に向かって大きく成長してほしいと思います。

